



一般会計補正予算

2023年2月駒井町3丁目に開所する多世代多機能の居場所運営委託費など。オミクロン対応コロナワクチン接種費用や65歳以上と5歳未満幼児のインフルエンザ予防接種無償化。物価高騰対策として、住民税非課税世帯に5万円、65歳以上高齢者に1万円支給。営農支援金・中小企業電気料支援金創設など総計35億円の追加補正を可決しました。

高校生医療費無償化

昨年10月から非課税世帯などを対象に、受診後償還払いが開始されています。2023年4月からは医療券が配布され、所得制限はありませんが無償化の範囲が拡大されます。

2023年4月からプラスチックごみの分別収集・資源化

条例改正に伴い、収集の概要を記した広報物の全戸配布と市民説明会を開催。可燃・不燃・プラの指定収集袋は共通で1種類に、価格と容量は従来通りです。

まちづくり条例の改正

「まちづくり協議会」での提案事項や市内開発を協議するまちづくり委員の定員が15名から10名に改正（職見有する5名と市民5名）されます。審議会のあり方を注視していきます。

市議会議員 まつざき淑子の一般質問

1. 災害時の避難行動について

2019年被害を受け、水害対策は排水施設設置の中長期計画作成、樋管ゲートのモニタリングや操作マニュアルの改善、上層階の教室の避難所使用が決まりました。マイタイムラインを作成し、事前の自主避難や垂直避難への呼びかけが進んでいます。震災時は「身の安全確保・火元確認→火災倒壊の危険がある場合は校庭公園などの災害時集合場所避難→自宅に被害がない場合は在宅避難。被害がある場合は避難所に避難」を確認しましょう。ジェンダーや多様性の視点を取り入れ女性やマイノリティが安心できる避難所運営と、昨年度猪方・駒井町地区で行われた防災まち歩きセミナーの全地域での実施を要望しました。

2. 介護保険制度の継続を考える

介護保険は2020年で20年を迎え、第9期介護保険制度の改正に向け、この先都市部で介護ニーズの増加が続くという地域差を踏まえ、介護サービスの基盤整備に関する方針が検討されます。2015年の介護保険改正により、これまで全国一律の内容でサービス提供されていた、要支援者の介護予防事業について、認定を受けなかった高齢者にもサービスを拡大して提供することで、国民全体の介護予防につなぎ、NPOや民間企業、ボランティアなど多様な主体によるサービスが利用できる総合事業が導入されました。

しかし、総合事業利用者のその後の状況把握(チェックシートの更新)が定期的に行われているか、総合事業の利用が充足しているか、介護度進行の抑止として機能しているか、などは利用者数やのべ利用回数ではわかりづらく、今後もヒアリング・調査を継続し、国で審議中の要介護1,2についても自治体の地域支援事業(総合事業)になる改正案が出ているので注視していきます。

3. 未来をつくる子どものために

国連の子どもの権利条約を日本は94年に批准、以来生活者ネットワークは自治体に対し「子どもの権利条例」制定を求め、ついに2021年議員提案により東京都にこども基本条例を制定。ついで2022年6月国は「こども基本法」を制定。こどもの声を聴き意見表明する権利、参画する権利が明文化されました。画期的なことです。

狛江市では市長が公約にあげており、子ども・若者応援プラン実施計画で、2024年度までに条例制定の検討を進めていくこと、条例の審議は、当事者である子どもたちの意見なども聴きながらしかるべき諮問機関で慎重に議論を重ねていくと答弁しました。審議にはヤングケアラー、被虐待経験者、ひきこもり経験者などの参加や、対象者の年齢についても今後検討を進めるとの回答。先進他市の条例を研究し、子どもの声を聴くしくみや救済制度の明記を求めます。



▲子どもたちのもうひとつの学びの場 調布市の「太陽の子」と「はしうち教室」を都議、地域ネットの議員たちと視察

▼までい母さんの性教育に参加  
幼いころから人権教育に根差した性教育が必要です



▲長崎で開催された全国都市問題会議～何度も訪れたい場所になるために～に参加

狛江・生活者ネットワークは、皆様からのご意見をもとに調査し、狛江市への予算要望や提案に活かしています。☺  
子育て・教育・介護・保健医療・環境・防災など、なんでも気になっていることをお寄せください。切手を貼らずに投函して下さい。



「困りごと相談」続けています ♡♡♡

一昨年10月から毎週木曜日、「コロナ困りごと相談」で平井議員と狛江駅に立っています。その場で話されたり、電話をくださったたり。相談窓口の対応に傷ついた経験がある方、一人でお子さんを育てている方、虐待経験を抱えながら今は自活している方など。気軽に相談をと思っていますが、声に出すのはものすごく勇気がいること。でも誰かに相談できれば、心はずっと軽くなり解決の道筋も見えてきます。と一緒に問題に取り組んでまいります。

